

令和五年度
耐久高校一年生
修学旅行 北陸方面

私はこの修学旅行を通して沢山の思い出を作ることができました。結団の日まで挨拶を考えて練習したのも、今となっては良い思い出です。



白川郷に実際に訪れてみると伝統を感じられる家屋の造りや自然の美しさに一瞬で心を奪われました。中々訪れることのできない白川郷にみんなで行くことができたのがとても嬉しかったです。

一日目の白川郷では和田家にお邪魔させて頂きました。合掌造りの建物の中で蚕や糸車等といった普段の生活では見ることの出来ない貴重な展示品を見せていただきました。二日目の恐竜博物館では中学の英語の教科書に掲載されていた恐竜のロボットを実際に見ることが出来、興奮しました。



SDGsの取り組みとして、ハンドクリーム作り体験では、カニの甲羅・殻を肥料にして栽培されたカレンデュラを使って班のメンバーと協力して作りました。ポイラー見学では板材や柱として使えない木材を細かくチップ状にしたものを燃やし、お風呂のお湯を温めていたことに驚きました。

初めて体験したことが多かったです。例えばキーホルダー作りや和紙作りです。和紙は職人さんにしかできないものだと思います。思っていたけど、スタッフの方が親切に教えてくれ可愛いオリジナルの和紙を作ることが嬉しかったです。



そば打ち体験をしました。福井県の有名な越前そばを自分たちの手で作りみんなで食べました。協力し合って作ったそばはすごく美味しかったです。行く前は不安なことが沢山あったけど、地域の名所を友だちと訪れる色々な体験をしたことよってより仲を深めることができたと思います。

みんなの仲の良さができていたと思うのが移動中のバスです。カラオケやバスガイドさんのレクリエーションはみんな笑顔で過ごせ楽しかったです。ホテルでは友だちとUNOやトランプ、雑談をして過ごしたのがとても楽しかったです。



三日目の金沢市散策では、行きたいところ全部は行けなかったけれど、友だちと一緒に行動すること自体が嬉しくて移動している時も楽しむことができました。

金沢市散策は計画通りにはいかなかったのですが、臨機応変に話し合い行きたいところを絞るなどして、抹茶スイーツを食べることができました。特にドタバタした印象でしたが一番楽しかったです。これまで北陸に対してあまり関心がありませんでしたが、思った以上に面白いことが多く良い所だと思いました。また北陸に行きたいです。



修学旅行を通じて計画性や仲間との絆について考える機会となりました。時間や移動費用等、いつも親や友だちに任せていた自分には考えることが難しかったです。旅館や班別行動の際、話し合いや折り合いをつけられないことを知りませんでした。印象に残ったことは和歌山との違いを見つけたことです。山に雪が積もっていたり、福井弁に触れたり、北陸で有名な海鮮を楽しむことができたり和歌山にはない魅力を楽しむことができました。



修学旅行実行委員

- 石井 唯希
- 多々納 菜月
- 寺田 陽
- 岡崎 翔吾
- 北山 絢実
- 原見 明希
- 平岩 楓
- 崎山 結友
- 堂浦 理亜
- 南出 光弘
- 山口 真歩
- 嶋田 成秀
- 西原 菜々
- 石橋 彩花
- 村田 光翼